

豊中市告示第331号

豊中市公共下水道事業業務状況の公表

豊中市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例（昭和41年豊中市条例第46号）第8条の規定による平成29年10月1日から平成30年3月31日までの業務状況を、次のとおり地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき公表します。

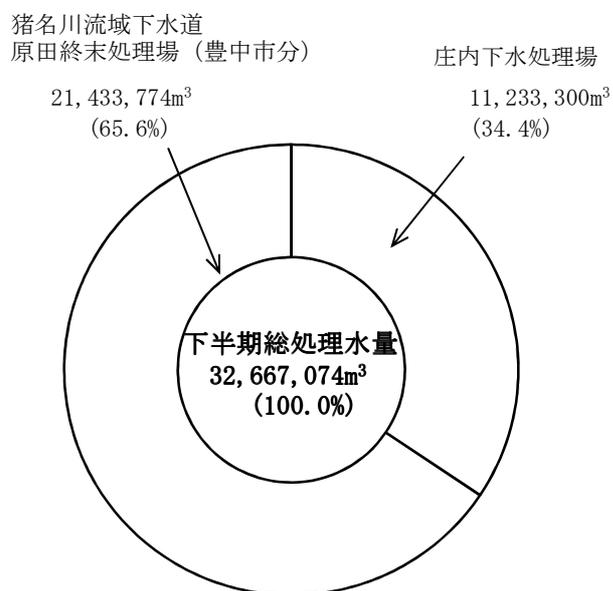
平成30年6月1日

豊中市長 長内繁樹

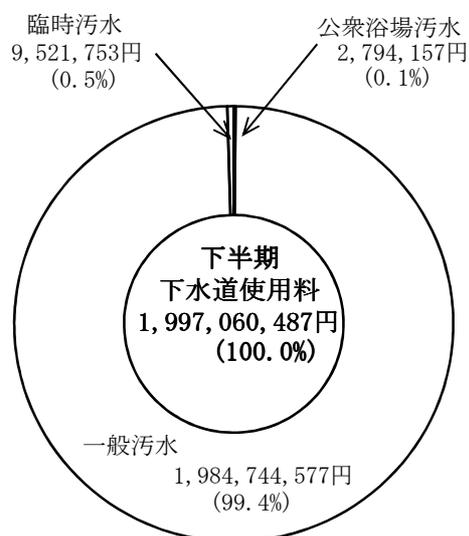
平成30年（2018年）3月31日 現在

排水人口	397,651人
処理可能区域人口	397,651人
処理可能区域戸数	173,931戸
年間総処理水量	65,443,103 m <sup>3</sup>
一日平均処理水量	179,296 m <sup>3</sup>

下半期総処理水量とその区分



下半期下水道使用料収入



平成29年度(2017年度) 下半期予算の執行状況

(消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

収入 7,131,234,144 円

13,629,705,862 円

予 算 費 目	下 半 期 予 算 の 執 行 状 況											累 計		
	0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億	40億	45億	50億			
営 業 収 益	下水道使用料 1,997,060,487 円												4,035,459,750 円	
	雨水処理負担金 1,217,637,016 円												2,514,457,016 円	
	流域下水道原田終末処理場 受託管理負担金収入 1,172,140,303 円												2,617,710,314 円	
	流域下水道終末処理場 建設受託事業収入(繰越分含む) 1,616,876,049 円												2,146,249,049 円	
	空港貯留施設受託 管理負担金収入 16,782,339 円												16,782,339 円	
	手数料収益 349,700 円												690,300 円	
	その他営業収益 14,253,887 円												14,253,887 円	
	営 業 外 収 益	受 取 利 息 3,392,300 円												4,132,752 円
		国 庫 補 助 金 10,000,000 円												10,000,000 円
		他 会 計 補 助 金 105,011,000 円												315,393,000 円
長期前受金戻入 973,749,552 円													1,944,380,232 円	
雑 収 益 3,981,511 円													10,197,223 円	

支出 7,980,132,287 円

12,604,223,727 円

予 算 費 目	下 半 期 予 算 の 執 行 状 況											累 計	
	0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億	40億	45億	50億		
営 業 費 用	職 員 給 与 費 690,275,141 円												1,094,078,194 円 (うち退職給付費) 130,443,852円
	減 価 償 却 費 2,033,068,718 円												4,066,137,435 円
	その他(繰越分含む) 4,790,307,734 円												6,753,011,343 円
	営 業 外 費 用	支払利息及び企業債取扱諸費 286,517,188 円											
庄内温水プール跡地整備事業費 177,970,441 円													177,970,441 円
消費税及び地方消費税 1,303,400 円													1,303,400 円
雑 支 出 689,665 円													1,892,926 円

0 △5億 △10億 △15億 △20億 △25億 △30億 △35億 △40億 △45億 △50億

差 引 額  
△ 848,898,143 円

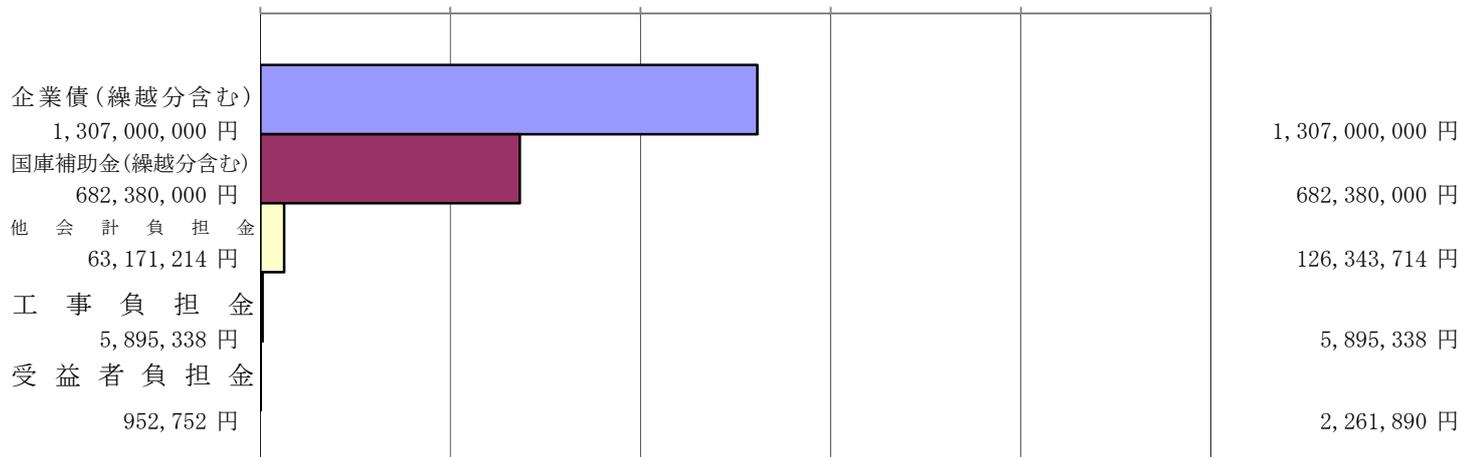
											1,025,482,135 円
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----------------

# 資本的収支

収入 2,059,399,304 円

2,123,880,942 円

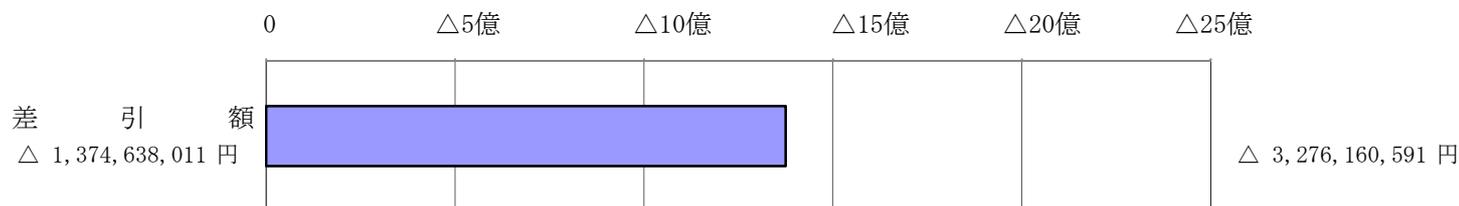
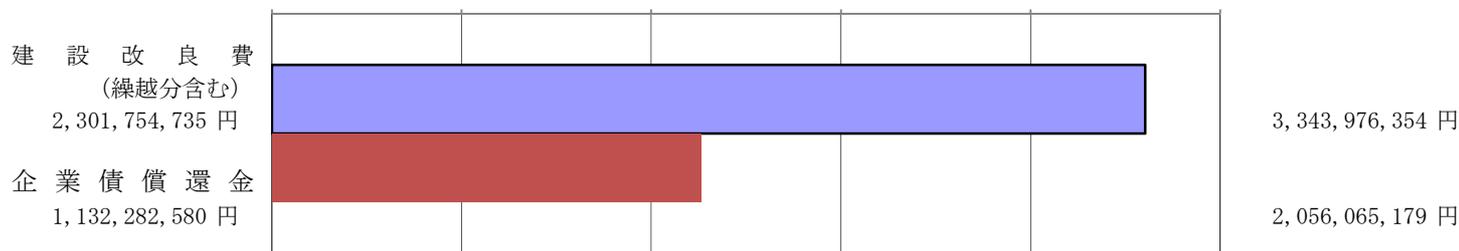
予算費目	下半期 予算の執行状況					累計
	0	5億	10億	15億	20億	



支出 3,434,037,315 円

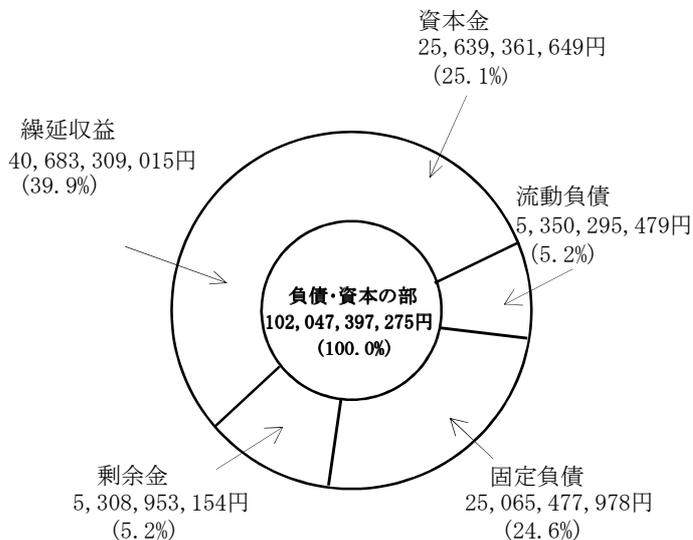
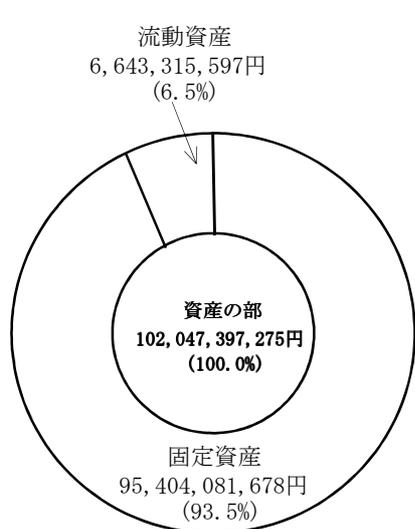
5,400,041,533 円

支出項目	下半期 予算の執行状況					累計
	0	5億	10億	15億	20億	



## 貸借対照表 (消費税及び地方消費税抜き)

[平成30年(2018年)3月31日現在]



企業債現在高  
一時借入金現在高

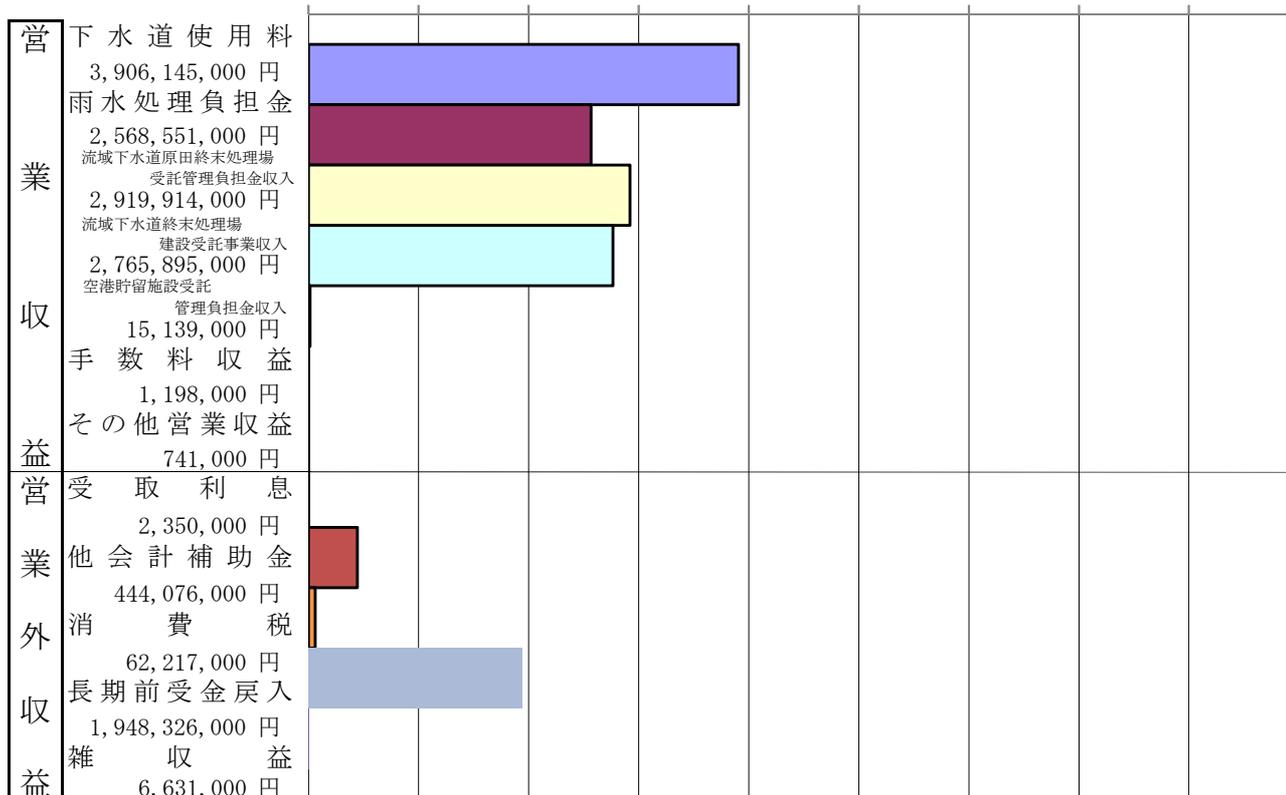
26,651,719,583 円  
0 円

平成30年度(2018年度) 予算の状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

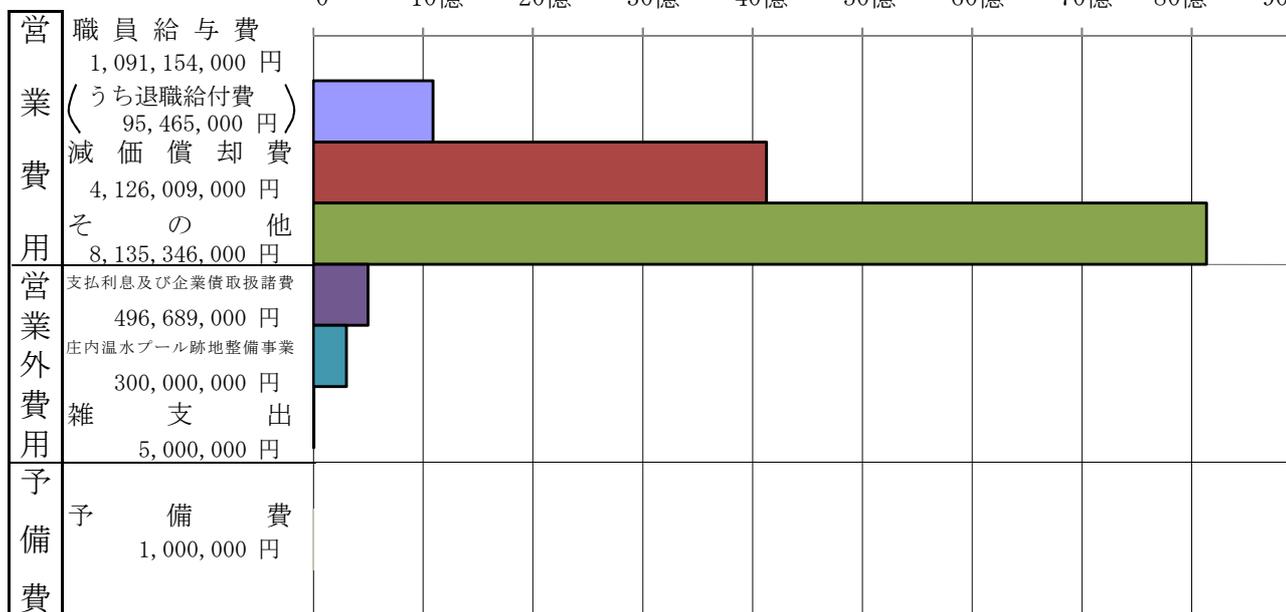
収入 14,641,183,000 円

0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億 90億



支出 14,155,198,000 円

0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億 90億



差引額

485,985,000 円

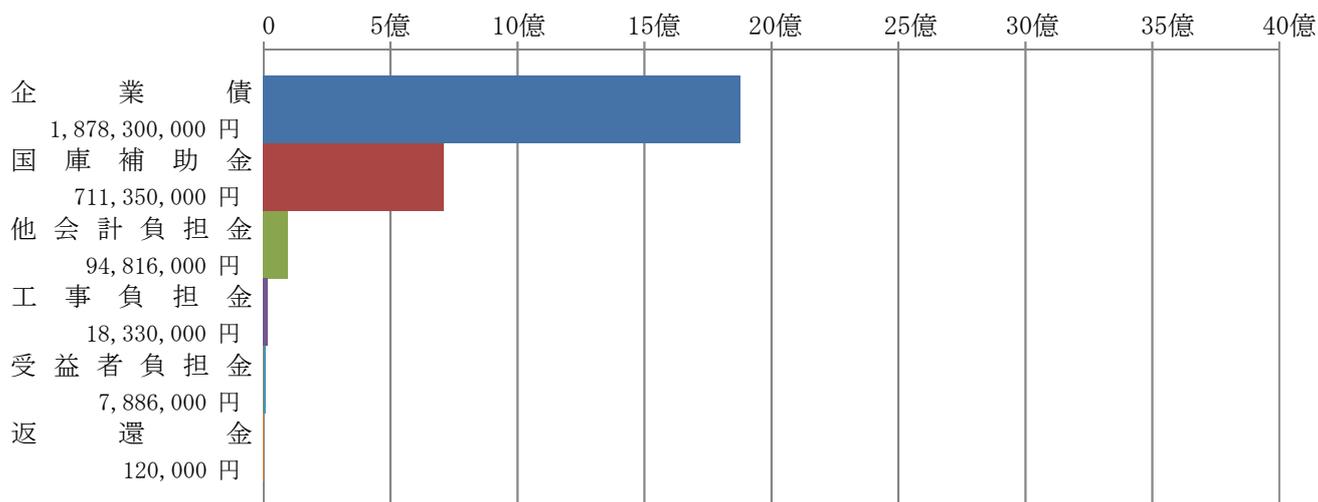
0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億 90億



# 資本的収支

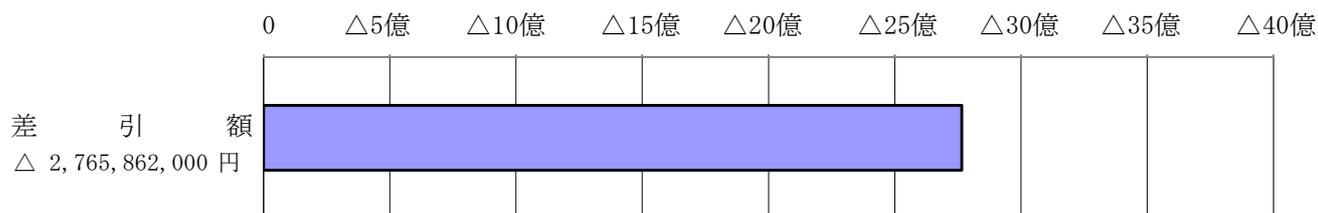
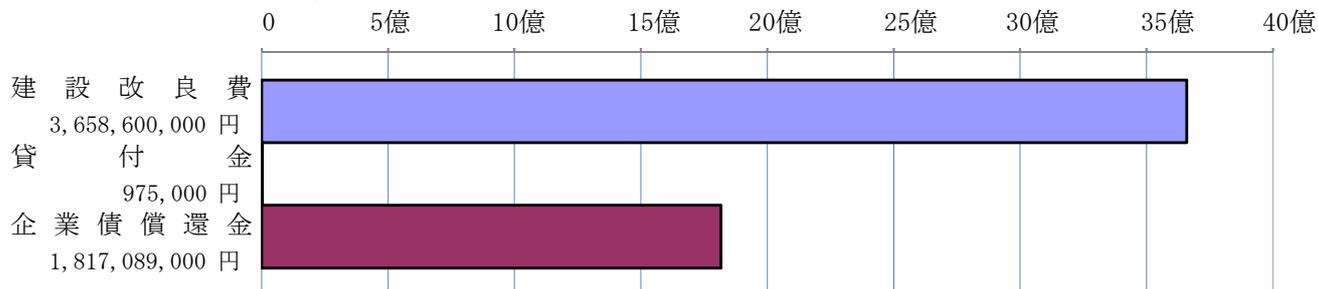
## 収 入

2,710,802,000 円



## 支 出

5,476,664,000 円



## 平成30年度 経営方針

平成30年度は、水道事業、下水道事業ともに、平成39年度までを計画期間とする「第2次とよなか水未来構想」のスタートの年となります。

この中の6つの目ざすべき将来像を実現していくため、「実行計画」を推進していくとともに、引き続き効率的な事業運営を推進しながら、資金の確保に努めます。

### <水道事業会計>

平成28年度決算は、純利益を確保することができ、資金剰余額は2,569,633千円でした。

平成29年度決算も、678,427千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、平成28年度から154,287千円増の2,723,920千円です。

しかし、有収水量及び給水収益は、対前年度比でそれぞれ95,179 m<sup>3</sup>の増、14,260千円の減となり、収益の根幹となる給水収益は引き続き減少傾向となっています。

今後、施設の更新費用が必要となる中、限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、管路の更新、野畑配水池の耐震化など、安定給水を確保していくための事業を着実に進めます。

### <下水道事業会計>

平成28年度決算は、純利益を確保することができ、資金剰余額は3,089,655千円でした。

平成29年度決算も、789,761千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、平成28年度から121,908千円減の2,967,747千円です。

しかし、有収水量及び下水道使用料は、対前年度比でそれぞれ14,963 m<sup>3</sup>の増、18,357千円の減となり、水道事業会計と同様に、引き続き減少傾向となっています。

今後、施設の更新費用が必要となる中、限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、浸水対策、管渠・施設の長寿命化など、事業を着実に進めます。

また、原田中央幹線築造工事を進める中、必要な財源である国の交付金の確保を要望していきます。